

わくわく倶楽部

江口グループ

第211号

令和7年2月発行

カッコいい仕事がここにある！ 土木の魅力を伝えたい！

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



こんにちは! 日頃よりわくわく倶楽部ニュースレターをご覧くださいありがとうございます。

大学生の就職活動がぼちぼちと始まっています。江口組でも新しい出会いがあるようにと採用活動を頑張っています。人気がないと言われていた建設業界ですが、大学生、高校生に土木の魅力を伝えたいと頑張っています!

土木の仕事は、昔から”3K”と言われることが多いです。「ぎつい、汚い、危険」。それに加えて、以前は休みが少なく、残業が多いと言われた時代もありました。さらに、外での仕事ですから、夏は暑く、冬は寒い。こうした話を聞くと、「建設業は大変な仕事だな」という印象を持つ方も少なくないと思います。そんな中で、自分自身はなぜこの業界を選んだのか? そして、なぜ今でもこの仕事を続けているのか?

自分が建設業に興味を持ったきっかけは、父が建設業に携わっていたことが影響していると思います。ただ、父から「この仕事をやれ」と言われたことは一度もありません。それでも、この道を選んだのは、現場で働く人たちの姿に憧れたからだと思います。

建設会社の息子として生まれ、小さい頃から現場で汗を流す人々を目にしてきました。真剣な表情で働く姿、汗を輝かせながら作業する様子、そして仲間と力を合わせて何かを作り上げる姿。それがとてもカッコよく見えたのです。

そして、その思いは今でも変わりません。江口組の社員たちが現場で働く姿を見ると、「やっぱりこの仕事っていいな」と心から思います。社員たちが真剣に取り組む姿には、子どもの頃に感じた憧れと同じ感動があります。

また、土木の仕事の魅力は、何よりも「人の役に立つ」という点です。道路や橋、公共施設といった社会の基盤を造るこの仕事は、多くの人々の生活を支えるものです。もちろん、大変なこともあります。暑さや寒さと向き合いながら作業を進めることは決して楽ではありません。

それでも、完成したものが地域の人々に使われ、喜ばれる姿を見ると、大きなやりがいを感じます。子どもたちに対しても、自信と誇りを持って「この仕事を頑張っている」と胸を張って言える仕事だと思っています。

土木の仕事は、ただインフラを整えるだけではありません。災害の復旧作業もその重要な一部です。例えば、大規模な地震や豪雨災害が発生した際、道路や橋が壊れ、生活が一変してしまうことがあります。そうした時、私たち土木業界が迅速に復旧作業に取り組むことで、地域に住む皆さんの安心安全な暮らしを取り戻すお手伝いができます。

災害復旧の現場では、「ありがとう」の言葉を直接いただく機会も多く、そのたびにこの仕事の意義を強く実感します。誰かの役に立てる喜び、そして社会を支える一員としての責任感が、私たち土木業界の大きなやりがいとなっています。

さらに、最近では建設業の労働環境も大きく改善されてきました。3Kと言われた時代から、働きやすい職場環境へと変わりつつあります。休みもしっかり取れるようになり、作業の効率化も進んでいます。これからの時代、土木の仕事はますます魅力的になると確信しています。

自分がこの仕事を選んだ理由は、現場で働く人々のカッコよさと、土木が人々の生活を支える仕事であるという誇りにあります。この想いを多くの人に伝えたい。そして、次の世代にも土木の魅力を感じてもらいたいと思っています。

「土木の仕事はいいっすよ!」この一言に、自分の想いが詰まっています。

この仕事の魅力に少しでも興味を持ってもらえたら、嬉しいです。そして、学生やこれからの時代を担う若い世代の人たちに土木の世界を体感してほしいです。

このような土木の仕事に励む江口組です。一緒に社会の基盤を創り、次世代に誇れる仕事をしてみませんか? 就活生の皆さんの訪問を待っています!!

江口グループ現場だより

キックオフ会で全員の心が一つに! 江口グループの後半戦がスタートしました!

皆 さんこんにちは。広報部の庄源です。
新年を迎えた江口グループは6月末が決算のため、1月はちょうど折返しの後半戦のスタートとなる月です。仕事始めの1月6日に全社員が集まり、後半戦に向けてのキックオフ会を開催しました。

キ ックオフ会では、社長のあいさつから始まり、各部門、そしてプロジェクトのリーダーたちが順番に発表を行いました。

昨年の7月から12月までの半年間で、私たちの取り巻く環境や、社会全体が大きく変わりました。

だからこそ夢実現、目標達成のために方向性がぶれていないか、計画を見直すべきところがないかを確認し、全社員で共有しました。

改めて社長や部門長、各プロジェクトの話をお聞き、「これからも夢実現のために!そして、地域のために!力合わせてがんばろう!」と全社員の心が一つになりました。

2025 年が始まって早くも1ヵ月。
私たちは今年も地域の皆様に信頼され、愛される存在であり続けられるよう全力で取り組んでいきます!
そして、このニュースレターを読んでくださっている皆様にとっても、実りある2025年になりますように★



社長の発表を聞き、さらに
気持ちが引き締まりました!



若手社員の発表を聞く、私自身も
もっとがんばろう!という気持ちに
させてくれます。

小さな行動が誰かのために! 江口グループSDGs活動

皆 さんこんにちは。広報部のきゆうだです。
江口グループでは次の世代への地球環境及び社会環境を維持するために7つの目標を掲げ、SDGs活動【えぐチャレンジ】を積極的に行っています。

その取り組みの一環として昨年12月に、江口グループの社員で集めたエコキャップと募金をそれぞれ寄付させていただきました。

エ コキャップは日本海開発へ、能登への義援金として提出しました。また、募金は社会福祉協議会へ、地域の社会福祉事業で活用されます。さらに、まだ回収したエコキャップが残っているので後日改めて提出しに行く予定です!

【えぐチャレンジ】を通じて社員の皆さんとの「和の力」が深まり、1つの形にできたことが嬉しいです。そして、1人1人の小さな行動が誰かのためになることを実感しました。

江口グループはこれからも社員一丸となり、7つの目標に向けて、地域や社会、環境のためにできるような取り組みを積極的に行っていきます。



提出したエコキャップは
合計30kgもあり、驚きました!



少しでも誰かのお役に
たてると嬉しいです!



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



このニュースレターの他に、江口組公式 SNS でも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

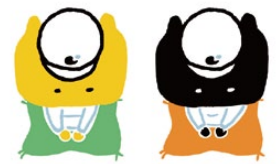


(株)江口組公式 X(旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^) /



すごい!が止まらない!!
大高建設さんの「最先端な広報活動」に感動

先 月、富山県黒部市にある大高建設株式会社さんを訪問させていただきました!

「黒部川の防人」というだけあり、黒部川を中心に多岐にわたる工事を手掛けている建設会社です。今回、私たちが大高建設さんを訪問した目的は、「最先端な広報活動」を学ぶためです!

大高建設さんでは、バーチャル空間やVR、AIなどの先進技術を活用した広報活動に取り組んでおり、私たちもそのノウハウを学ばせていただきました。さらに、実際にVRを使ったバーチャル空間を体験させていただき、その先進性とクオリティには驚くばかりでした。「すごい!」という言葉しか出てこないほど感動しました(笑)。

今 回の訪問を通じて得た学びを活かし、江口組の広報活動もさらにパワーアップさせていきたいと考えています!

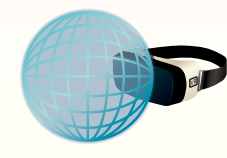
大高建設株式会社の皆さま、このたびは貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました!



大高建設さんを訪問させていただきました!



VRを体験させていただきました!



くーの現場通信 その6 『地域交流活動を通して子供たちへ伝えたいこと』



お久しぶりの建設ディレクターくーです。年末年始は久しぶりに九州にある実家へ帰省し、両親の顔を見ることができ安心しました。石川県のお正月料理にも興味があるので、どなたか味わわせてください。(笑)

ところで、皆さんは土木についてどれくらいご存じでしょうか? わたしの大好きな土木の魅力を知らいたくて、子供たちへの周知活動を行っています。今回は、昨年行った地域交流活動をご紹介します。

日末小学校では、土木についてのお話と校区内で江口組が行っている養浜工事についての説明を行いました。子供たちの真剣な眼差しに緊張してしまいましたが、熱心に聞いてくれて大変うれしかったです。引き続き、重機や弊社

キャラクターのぬり絵なども行いました。完成した作品は、工事現場に掲示しています!

聖愛幼稚園では、土木の魅力を知ってもらうために土木会社が制作された絵本の読み聞かせを行いました。その後、園児たちには手形アート製作に協力してもらいました! 園児たちの小さな手形を使って大きな木と花壇の看板を製作し、工事現場で掲示しています。参加した園児や通行人の方にも楽しんでいただけているようです♪

子供たちとの交流を通して、私たちも自分達の仕事への誇りややりがいを再認識でき、元気なパワーをたっぷりいただけました(#^^#)また、掲示物によって現場イメージの改善やさらなる交流が生まれ、親しみやすい現場作りの一環になったと喜ばしく思ってます。



日末小学校3・4年生



児童の作品展示



聖愛幼稚園年長・年中



手形アート看板

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



スタッフ通信

まだまだ寒い日が続いております。
 今月も引き続きみんなに「冬に食べたい温かい料理」を
 聞いてみました♪
 温かいものを食べて寒い冬を乗り越えましょうー!!



工事部
酒井 夢大

冬に食べたい温かい料理
 “煮物”
 細切が沢山入ったやつ。
 酒井 夢大

工事部
酒井 基樹



冬といえば“鍋”
 おでん、よせ鍋、焼き焼き
 鍋と熱かんで
 体があたたまります

スタバのジンジャーブレッドラテ ♡
 毎年冬の身になります。



クリエイション江口
中田 さやか



工事部
稲田 充希



工事部
吉村 早希



善哉。


アツアツめ
 麻婆豆腐



ご意見・ご感想などがございましたら
 SNS または 同封してあります
 アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元 **EGUCHI**
江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
 TEL.0761-24-1311(代)
 eguchigumi@eguchi-group.co.jp